

## 平成 27 年度事業報告

公益法人へ移行後 5 年が経過しましたが、公益法人関連法を遵守しつつ事業運営は、概ね順調にしていることをまず報告致します。

県防連としては、常に、県内 54 の単位防犯協会による防犯ボランティア活動を支援することに配意し、いかなる事業展開が効果的なのかを念頭に置き、単位協会の調整役としての機能発揮に留意して、各種の事業を推進しました。

平成 27 年度の経済動向を見ると、「三本の矢」の一体的推進により、緩やかな回復基調が見えたようですが、中国等経済の景気減速による輸出の弱含み、個人消費や民間設備投資の回復に遅れが見られたため、政府は、一億総活躍社会緊急対策による景気の回復に期待した。

また、昨年末以降の原油価格の下落による影響が交易条件を改善し、自動車産業等は大きな収益を得ましたが、個人消費にまでは及ばず、地方経済の好循環までには至っていないのが現状ではないでしょうか。

今年度については、新三本の矢と呼ばれる強い経済、子育て支援、安心な社会保障政策の推進による経済情勢の好転を期待し、ひいてはそれが日本の安全に好影響を及ぼし、更には、テロのない、世界中の人々が安心して暮らせる時代になることを願うものです。

その世界平和の基盤を成す地域の安全・安心のため、その一翼を担う地域の防犯ボランティアによる地道な「街の安全」活動が効果的ですが、その活動の成果の一つと信じたい本県の刑法犯罪の総認知件数が 13 年連続で減少しているという、数値上の成果は評価されるべきものでしょう。

とはいえ、全国では、平成 27 年中の被害総額が約 477 億円、本県でも 14 億円を超える特殊詐欺被害の実態があるほか、社会的弱者である女性や子どもに対する性犯罪被害等を見聞きするにつけ、県民の体感治安に満足感が足りないという実態において、より一層の安心・安全な街づくりの必要性を感じるものです。

その現状認識の下、県防連では、平成 28 年度も犯罪被害の減少化を願い、引き続き「みんなで作ろう安心のまち」をスローガンに、「安全で安心して暮らせるまち」の実現を目指し、「ご近所の防犯運動」や「ひょうごっこハートスキルアップ」を推進の柱に

- ・ 増加する凶悪犯罪への効果的対応
- ・ 防犯組織の拡充強化と地域安全活動の推進
- ・ 少年の健全育成及び非行防止活動の推進
- ・ 覚醒剤等薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の推進
- ・ 暴力団追放運動の推進
- ・ 防犯優良マンション認定制度の促進

を図るため、警察をはじめ、関係機関・団体等と連携・協働しながら、下記のとおり各種事業を推進しました。

### 記

#### 第 1 定例会の開催

##### 1 第 11 回理事会

平成 27 年 5 月 21 日午前、パレス神戸において、来賓に大橋参事官をお迎えして開催され、平成 26 年度事業報告、平成 26 年度収支決算報告、賛助会員の入会承認の件及び資金運用規程の制定承認の件について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告、理事及び監事の再任と就任予定、賛助会員資格の喪失についても報告しました。

##### 2 第 7 回定時総会

平成 27 年 6 月 10 日午後、パレス神戸において、来賓に田中生活安全部長をお迎えして開催され、平成 26 年度事業報告、平成 26 年度決算報告、理事及び監事の任期満了に伴う新しい理事の選任及び監事の選任について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、平成 27 年度事業計画承認の件、平成 27 年度収支予算の承認の件及び新しい単位協会会長の就任について報告しました。

### 3 第12回理事会

前記2の第7回定時総会終了の直後、同所において、新しい理事及び監事の選任に伴い、会長、副会長及び専務理事の候補者を選定する議案を審議したところ、各候補者とも、原案どおり選定されました。

### 4 第13回理事会

平成28年3月2日午後、パレス神戸において、来賓に大橋参事官をお迎えして開催され、平成27年度補正予算案承認の件、平成28年度事業計画案承認の件、平成28年度収支予算案承認の件、特定個人情報基本方針の制定案件、同取扱規程の制定案件、就業規則の改正案件、会費規則の改正案件及び起案文書に係る決裁区分の制定案件について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況、兵庫県公益認定等委員会による立入検査結果及び既入会の賛助会員2団体の確認報告を行った後、県防連への高額寄附者である株式会社兵栄様に会長感謝状を贈呈しました。

### 5 防犯功労者等の表彰式

平成27年6月10日午後3時から、パレス神戸において、冒頭、県防連への高額寄附者である兵庫県遊技業協同組合様及び一般財団法人武井スポーツ育英会様に会長感謝状の贈呈を行い、続いて、下記の方々に対して表彰状の授与又は感謝状を贈呈しました。

- ① 優良防犯団体表彰：灘防犯協会高羽支部以下計16団体
- ② 善行青少年団体表彰：淡路市立岩屋中学校
- ③ 善行青少年個人表彰：垂水防犯協会川畑愛様以下6名
- ④ 防犯功労者表彰：東灘防犯協会千足耕一郎様以下77名
- ⑤ 優良職員表彰：相生市防犯協会森山圭美様
- ⑥ 防犯功労警察官感謝状：生活安全企画課古賀武志様以下15名計17団体99名

### 6 防犯協会職員研修会及び懇親会の開催

平成28年1月28日午後、兵庫県民会館3階会議室において、来賓に大橋参事官をお迎えし、武内会長、木村副会長ご出席の下、県下単位防犯協会職員に対する研修会を開催し、最近の犯罪情勢や非行少年情勢の講義を受けた後、神戸市企画調整局森担当課長を招聘し、施行直後の所謂「マイナンバー制度」の正しい認識のための講義を聴講したほか、数々のテーマを示して協会職員間における意思統一を図りました。

また、研修会終了後、有志による懇親会を開催し、研修会の席上では聴けない本音部分の意見交換会を行い、平素の疑問点等の解消に努めました。

### 7 但馬地区防犯協会職員との意見交換会の開催

平成27年12月3日午前、前日開催した但馬地区風俗営業管理者講習会の帰路、養父署において、但馬地区職員6名に参集願い、平素、電話応対のみになりがちな状況の改善を図るため、県防連職員4名と意見交換会を開催し、所謂、顔の見える仲間意識の醸成を図りました。

## 第2 事業概要

### 1 県防連事務局の自主事業

#### (1) 防犯ポスター及び防犯標語コンクールの実施

平成27年6月23日、パレス神戸において、県立高校校長（美術教師）、県地域安全課副課長、県警生活安全企画課長補佐、同少年育成課課長補佐、暴力団追放兵庫県民センター広報相談課長及び県防連専務理事を審査委員として実施しました。

結果は下表のとおりです。

テーマ	区分	防犯ポスターの部		防犯標語の部		結果
		応募総数	全防連推薦数	応募総数	全防連推薦数	
防犯活動		90	6	253	6	テーマ毎に最優秀 1点、優秀 2点、佳作 3点を選出し、県防連会長名で表彰した。
振り込め詐欺		50	6	92	6	
暴力追放		27	6	42	6	
計		167	18	387	18	

(参考) 27年度は、全防連表彰の対象作品はありません。

(2) 地域安全ニュースコンクールの実施

平成 27 年 9 月 29 日から 3 日間、県警本部 1 階ロビーにおいて、計 19 単位協会から出品された計 32 点の作品を県警幹部らの厳正なる審査により、地域安全ニュース部門、機関誌部門及び写真部門から最優秀、優秀及び佳作を各 1 点選出し、それぞれ表彰状及び商品券を贈呈して今後の広報・啓発意識の向上に努めました。

(3) 善良な風俗の保持及び風俗環境浄化事業の推進 (収益事業)

県防連は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づき、兵庫県公安委員会から県内で唯一の「兵庫県風俗環境浄化協会」として指定されていますが、警察本部長から業務委託を受け、下表のとおり、風俗営業に係る新規許可申請及び構造変更承認申請に伴う現場調査業務を総計 172 件実施しました。

その他、風俗営業管理者に対する法定講習を平成 27 年 6 月から翌年 2 月までに計 7 回、計 281 名に対して実施し、更なる遵法意識の向上を図りました。

また、受講者に対しては、現下の犯罪情勢のほか、特殊詐欺被害防止について資料に基づき講話するほか、県と県警が設置した「ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談」事業の広報・啓発にも努めました。

なお、講習は業種毎に概ね 3 年に 1 度で実施しており、平成 27 年度は 7 号営業及び 8 号営業を実施対象とし、平成 28 年度は 7 号営業が実施対象の予定です。

ア 業種別現地調査件数の状況

区分	新規許可申請								構造変更の承認申請								合計
	1	2	3	4	7 号		8	小計	1	2	3	4	7 号		8	小計	
					パチンコ	麻雀							パチンコ	麻雀			
4		18						18									18
5		9			1			10							1	1	11
6		9					1	10									10
7	1	11				1	3	16							2	2	18
8		13					2	15									15
9		11			1	2	1	15		1						1	16
10		13			1	3	1	18									18
11		13					2	15					2			2	17
12	1	10			2			13									13
1		8				1	1	10									10
2		9				2		11									11
3		10			1	1	1	13					2			2	15
計	2	134			6	10	12	164		1			4		3	8	172

\* 参考 (平成 26 年度実績)

計	1	114			5	8	7	135		2			9	1	8	20	155
---	---	-----	--	--	---	---	---	-----	--	---	--	--	---	---	---	----	-----

イ 風俗営業管理者講習の受講者数と講習回数(○数字) の状況

月別	1号 営業	2号 営業	3号 営業	4号 営業	5号 営業	6号 営業	7号営業		8号 営業	計
							パチンコ等	麻雀		
4										
5										
6									34	①34
7									21	①21
8										
9									44	①44
10							12	8	1	①21
11							44			①44
12							16	3	10	①29
1										
2							85		3	①88
3										
計							157	11	113	⑦281

\* 参考 (平成 26 年度実績)

計	13	569	9	2						⑫593
---	----	-----	---	---	--	--	--	--	--	------

(4) 兵庫県防犯優良マンション認定制度事業

本事業は、地域安全まちづくり条例（平成 18 年兵庫県条例第 3 号）に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」による、犯罪に遭いにくい構造・設備の基準を充足した集合住宅（マンション）を「防犯優良マンション」と認定し、防犯性の高い安全快適な住宅環境を提供する制度であり、平成 19 年度に開始し、平成 27 年度末までに計 107 件（累計 6,878 戸）を認定しています。なお、進捗状況は下表のとおりです。

\* 認定実施機関

- ① 公益財団法人 兵庫県住宅建築総合センター
- ② NPO 法人 兵庫県防犯設備協会
- ③ 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

【 進 捗 状 況 】

区分/年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	計
申請件数	3	14	16	27	17	11	15	8	7	118
認定件数	1	2	12	27	19	13	13	13	7	107
認定戸数	50	202	794	1,785	741	879	804	1,106	517	6,878

注) 申請年度と認定年度は整合しません。また、申請件数と認定件数の差異は、竣工前 6 件、取消し 3 件、及び撤回 2 件です。

(5) 兵庫県防犯優良駐車場登録制度事業

平成 23 年度に NPO 法人兵庫県防犯設備協会との合同事業として、スタートした本事業ですが、PR 不足もあり、営業者側の「営業利益に反映しない」等の理由から、25 年度登録以降の申請はなく、現時点の登録駐車場は、下記の 3 箇所のみです。

- ① 姫路市塩町所在「パーキング富貴」49 台
- ② 姫路市南町所在「富貴・駅前パーキング」72 台
- ③ 神戸市中央区所在「P-C L U B 中山手通」88 台

(6) 第 29 回兵庫県警察少年柔道・剣道大会の開催

兵庫県遊技業協同組合及び(一財)武井スポーツ育英会からの寄附金を活用し、7 月 24 日、明石中央体育会館において、柔道 28 チーム計 185 人、剣道 45 チーム計 297 人の参加及び約 2,000 人の観衆の中、熱戦を繰り広げました。なお、結果は次表のとおりです。

区分	優勝	準優勝	第 3 位		敢 闘 賞
柔道	龍野若竹会	兵庫少年こだま会柔道部	伊丹柔道協会	姫路中央柔道教室	ゆりのき柔道教室、赤穂市柔道協会、社柔道少年団、三木柔道クラブ
剣道	相生警察署	加古川警察少年剣道会	葺合少年剣友会	やまびこ会	尼崎南署、川西警察少年部、赤穂剣道連盟、朝来警察署

(7) 民間企業対象の情報セキュリティーセミナーの共同開催

平成 27 年 10 月 28 日、センタープラザ西館会場において、民間企業を対象としたサイバー犯罪の現状と事故事例に学ぶ Web サイトのセキュリティー対策講座を関係団体と共同開催しました。

(8) 少年非行防止研究会の開催支援

平成 27 年 7 月 30 日、県警本部内において、県内の教育関係者・自治体職員・保護者ら約 250 人を招き、兵庫県立大学武内准教授が講演を行ったほか、SNS 大手会社によるスマートホンの実体験を実施して、危険性の認識を確認しました。

(9) 相愛大学人文学部学生による防犯論文作成の支援

平成 27 年 9 月 8 日、相愛大学人文学部学生 3 名による「街頭犯罪対策」に関するインタビューを受ける形での論文作成の支援を行い、その成果が県防連にフィードバックされました。

(10) 防犯カメラの設置促進

平成 26 年 9 月に発生した「神戸市長田区内における小学生幼児殺人・死体遺棄事件」を契機として、防犯カメラの有用性が更にクローズアップされ、兵庫県が計 400 台、神戸市でも 250 台が設置補助金を交付したほか、伊丹市においては、「28 年度末までに 1000 台設置！」を宣言するなど、安全確保への投資が県民に安心感を与えており、県防連専務理事が兵庫県及び神戸市の防犯カメラ選定審査委員として、設置促進の一翼を担っています。

(11) 少年の健全育成と有害環境の排除活動等の推進

ア 機関紙・ポスター・地域安全ニュース等の発行

- ① 機関誌「愛のともしび（年 2 回 49,500 部）」
- ② チカン防止啓発ポスター「あっ！それチカンや！」（1,000 部）
- ③ 犯罪の起きにくい社会づくり広報啓発ポスター「犯罪のないまちへ～みんなでスクラム～」（1,000 枚）
- ④ 犯罪の起きにくい社会づくり広報啓発チラシ（3,000 枚）
- ⑤ 地域安全ニュース「女性の犯罪被害防止」（35,000 枚）
- ⑥ スマホの有害サイト制御啓発ポスター「知っていますか？フィルタリング。」（3000 部）
- ⑦ 全国地域安全運動啓発ポスター「安全・安心なまちづくり」（1,500 部）
- ⑧ 地域安全ニュース「いかのおすし」（85,000 枚）
- ⑨ 防犯啓発ポケットティッシュ（58,000 個）
- ⑩ 金融機関への犯罪防止啓発小冊子「金融機関の防犯」（5,000 冊）

イ 少年の健全育成事業「少年の居場所作り」支援事業への支援

平成 27 年 8 月 27 日、新長田「鉄人広場」にい集する対象少年らを「須磨海浜公園野球場」に招致しチームを組ませ、サポートセンター勤務員、学校教師、長田署員で編成したソフトボール試合を通じて少年らに手を差し伸べる立ち直り支援活動に助成しました。

また、平成 27 年 11 月 15 日、「神戸マラソン」開催日には、コースボランティアとして給水業務を経験させるなどして、少年の自意識の向上に努めました。

(12) 薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の支援

ア 警察本部薬物銃器対策課及び少年育成課と連携し、(公財)全国防犯協会連合会発行パンフレット「NO！薬物乱用あなたがねらわれている！（計 6,000 部）」、県防連作成のチラシ「地域安全ニュース（計 60,000 部）」を活用して、社会人から小学校低学年（保護者等含む）までを対象とした「薬物乱用防止教室」を  
 ○ 薬物銃器対策課対応＝延べ 66 回、受講者数延べ 5185 人

○ 少年育成課対応＝延べ 630 回、受講者数延べ 116,703 人  
開催し、薬物乱用の危険性、害悪性についての啓発事業を支援をしました。

イ 兵庫県銃器対策推進本部の活動支援

同本部の広報啓発部会メンバーとして運営会議に出席し、事業推進の広報活動のあり方を検討しました。

(13) 県警キャラクター「まもりちゃん」着ぐるみの貸し出し

平成 26 年度に購入した「まもりちゃん」着ぐるみは、県警県民広報課へ貸与し、平成 27 年度中、延べ 86 日間の使用により、警察と市民の架け橋役を担っています。

(14) 関係機関・団体との連携

平成 27 年度も県企画県民部地域安全課、同健康福祉部健康局薬務課、神戸市危機管理室、神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課、同産業振興局経済部工業課及び警察本部組織対策局組織犯罪対策課、同生活安全部生活安全企画課、生活環境課、少年育成課並びに防犯に関連する各種団体・機関との連携を保持しました。

(15) 公益法人移行後の賛助会員年度別入会状況 (金額単位：千円)

区分	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	備考
入会数	4	7	5	2	3	計 81 団体、収入総額 5,240 千円
金額	80	130	100	40	250	

(16) 公益法人移行後の年度別寄附受納状況 (金額単位：千円)

区分	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	備考
件数	3	3	4	4	4	物品について、㉕は関西遊技機商業協同組合から、その他は日本宝くじ協会から
現金	2,600	2,600	3,600	3,600	3,600	
物品	青パト1台	青パト1台	青パト1台	青パト1台	青パト1台	

2 単位防犯協会との共同事業  
(1) 組織の整備と活動の活性化

ア 単位防犯協会支部等の活動強化

各単位防犯協会における各支部長を中心に、地元自治会、防犯ボランティア団体等との「防犯パトロール、街頭キャンペーン」を実施し、組織力の拡大と活動の強化を図りました。

イ 防犯連絡所の活動

県内約 1,800 箇所の防犯連絡所から交番・駐在所及び警察署に対して、よろず相談から事件関係、防犯関係、少年関係、交通事故関係の各種情報を提供し、地域住民の安心感を高めることを目的としていますが、通信手段の高度化や住民の連帯感の希薄化により、防犯連絡所の必要性を議論する時期が到来しているとの意見もあり、改善策を模索中です。

ウ 少年保護活動の推進

「県防連会長」が委嘱した県下の少年補導員 2,666 名が、子どもの登下校時における見守り活動並びに有害広告物の除去や青少年健全育成を目的に、街頭補導活動を実施しました。

また、平成 27 年 8 月 26 日午前、パレス神戸において、少年補導功労者・同団体に対する表彰式を開催し、計 12 名、4 団体に対して兵庫県少年補導員連絡協議会会長表彰を授与しました。

エ 兵庫県主宰の「トライやる・ウィーク」に協力し、警察署と協働して中学 2 年生を受け入れ、振り込め詐欺撲滅対策の一環として、広報用チラシの作成・配布、空き巣多発地区におけるマイク広報や「のぼり旗」の設置などを行いました。

(2) 総合的な地域安全活動等自主防犯意識の普及促進

ア 「ご近所の防犯運動」の推進

侵入犯罪やひったくり等の街頭犯罪の防止を図るため、各単位防犯協会が各警察署と協働し、自治会、町内会を始め、PTA、婦人会、子供会等に防犯対策

等の情報を発信して自主防犯活動を促進しました。

#### イ 子どもの安全・安心対策イベント「～子どもが安心して暮らせる社会に!!」の開催

平成 27 年 4 月 3 日午前から、王子動物園において、関西ノート(株)ご協力の下、県地域安全課、神戸市危機管理室、灘区役所、県警生活安全企画課、少年育成課、灘防犯協会、灘署及び県警音楽隊が一体となって、入学前の子どもの安全対策を主眼に啓発イベントを開催しました。現場には、尼崎市非公認キャラクター「ちっちゃいおっさん」も駆けつけ盛り上げていただきました。

#### ウ 犯罪の起きにくい社会づくり広報啓発イベントの開催

平成 27 年 6 月 7 日午後、ミント神戸前通路において、(株)神戸製鋼所ご協力の下、兵庫県ボーイスカウト連盟、県地域安全課、神戸市危機管理室、同教育委員会、中央区役所、県警生活安全企画課、葺合防犯協会、生田防犯協会、葺合署、生田署及び県警音楽隊が一体となって、平成 27 年 6 月中展開する「犯罪の起きにくい社会づくり推進広報月間」に併せ、広報啓発イベントを開催しました。

現場には、「播州戦士ソウルダー」も駆けつけ盛り上げていただきました。県防連では、プロラグビークラブ「神戸製鋼コベルコスティーラーズ」をモデルにした広報啓発ポスターやチラシを作成し支援しました。

#### エ 全国地域安全運動プレイベントの開催

平成 27 年 10 月 11 日から 10 日間実施された全国地域安全運動のプレイベントとして、10 月 3 日午前、神戸市中央区所在のハーバーランド「カルメニ前広場」、「デュオドーム」特設ステージにおいて、啓発イベントを開催しました。

当日は、県警本部各所属・生田署・県地域安全課・生田防犯協会・神戸新聞興産(株)・神戸地下街(株)・サン神戸ウォーターサプライ(株)・ケンミン食品(株)・宝塚大学・啓明学院高校・加古川東高校・姫路工業高校など計約 200 名の方々の参加を得て、式典に続いて、チアリーディング、県警音楽隊演奏、生田協会久野会長による「安全・安心なまち」に向けた決意表明、安全活動に対する応援団エールを披露したほか、警察や民間事業者による防犯ブースを設置して、運動機運の盛り上げに努めました。

また、同日、宝塚大学造形芸術学部制作力創造学科 1 年伊藤百花さんデザインに係る運動啓発ポスター(2,000 枚作成)を、お披露目しました。

なお、本運動の推進に絶大なご支援いただきました次の方々に会長感謝状を贈呈しました。

- ① 宝塚大学 1 年・伊藤百花さん
- ② サン神戸ウォーターサプライ(株)
- ③ ケンミン食品(株)

#### オ 地域安全運動兵庫県民大会の開催

平成 27 年 10 月 14 日午後、兵庫県公館において、参加者約 500 人の中、県知事、県警本部長の臨席も得て、「平成 27 年地域安全兵庫県民大会」を開催しました。

会長らの挨拶・来賓紹介に続き、防犯功労者への各種表彰後、(株)ラジオ関西アナウンサー三上公也氏による「地域の安全にラジオを活かそう」をテーマの防犯講演を聴講し、最後に、芦屋防犯協会婦人部の菊池厚子さんが「人とのつながりや関係機関との連携を大切にし、犯罪の起きにくい社会づくりに向けて地域ぐるみで取り組む。」と大会宣言を力強く読み上げ締めくくりました。

また、全ての単位防犯協会においても、それぞれ自治体等と連携し、地域の独自性に趣向を凝らして「住民安全大会」等が開催されました。

#### (3) 暴力団追放運動の推進

平成 27 年 8 月、六代目山口組が分裂し、「神戸山口組」が結成されたことにより対立抗争状態に至っていますが、(公財)暴力団追放兵庫県民センター理事でもある県防連専務理事としても、暴力団追放運動の推進に積極的に協力し、平成 27 年 11 月 12 日神戸文化ホールにおいて開催された「平成 27 年度暴力団追放兵庫県民大会」には、瀬戸内沿線の単位防犯協会長を始め、多数の防犯協会員の参加をいただくなど、暴力団追放意識の高揚増進に努めました。

# 平成27年度決算報告

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
I	資産の部								
	1 流動資産								
	現金預金		17,515,425			19,659,192			-2,143,767
	未収金		165,423			678,206			-512,783
	流動資産合計		17,680,848			20,337,398			-2,656,550
	2 固定資産								
	(1) 特定資産								
	退職給付引当金預金		910,430			1,323,056			-412,626
	特定資産合計		910,430			1,323,056			-412,626
	(2) その他の固定資産								
	什器備品		453,605			757,554			-303,949
	ソフトウェア		0			131,477			-131,477
	投資有価証券		3,000,000			0			3,000,000
	その他の固定資産合計		3,453,605			889,031			2,564,574
	固定資産合計		4,364,035			2,212,087			2,151,948
	資産合計		22,044,883			22,549,485			-504,602
II	負債の部								
	1 流動負債								
	未払金		0			4,082			-4,082
	預り金		1,540,387			1,178,697			361,690
	流動負債合計		1,540,387			1,182,779			357,608
	2 固定負債								
	退職給付引当金		910,430			1,323,056			-412,626
	固定負債合計		910,430			1,323,056			-412,626
	負債合計		2,450,817			2,505,835			-55,018
III	正味財産の部								
	1 指定正味財産		0			0			0
	2 一般正味財産		19,594,066			20,043,650			-449,584
	(うち特定資産への充当額)		(910,430)			(1,323,056)			(-412,539)
	正味財産合計		19,594,066			20,043,650			-449,584
	負債及び正味財産合計		22,044,883			22,549,485			-504,602



# 貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 資産の部										
1 流動資産										
現金預金	3,673,299	698,128		4,371,427		10,128,078		10,128,078	3,015,920	17,515,425
未収金				0		165,423		165,423		165,423
流動資産合計	3,673,299	698,128	0	4,371,427	0	10,293,501	0	10,293,501	3,015,920	17,680,848
2 固定資産										
(1) 特定資産										
退職給付引当金預金	465,103	91,697		556,800	87,244	84,107		171,351	182,279	910,430
特定資産合計	465,103	91,697	0	556,800	87,244	84,107	0	171,351	182,279	910,430
(2) その他固定資産										
什器備品	281,233	172,369		453,602	1	1		2	1	453,605
投資有価証券	3,000,000			3,000,000				0		3,000,000
その他の固定資産合計	3,281,233	172,369	0	3,453,602	1	1	0	2	1	3,453,605
固定資産合計	3,746,336	264,066	0	4,010,402	87,245	84,108	0	171,353	182,280	4,364,035
資産合計	7,419,635	962,194	0	8,381,829	87,245	10,377,609	0	10,464,854	3,198,200	22,044,883
II 負債の部										
1 流動負債										
預り金	993,000			993,000				0	547,387	1,540,387
流動負債合計	993,000	0	0	993,000	0	0	0	0	547,387	1,540,387
2 固定負債										
退職給付引当金	465,103	91,697		556,800	87,244	84,107		171,351	182,279	910,430
固定負債合計	465,103	91,697	0	556,800	87,244	84,107	0	171,351	182,279	910,430
負債合計	1,458,103	91,697	0	1,549,800	87,244	84,107	0	171,351	729,666	2,450,817
III 正味財産の部										
1 指定正味財産				0				0		0
2 一般正味財産 (うち特定資産への 充当額)	5,961,532 (465,103)	870,497 (91,697)		6,832,029 (556,800)	1 (87,244)	10,293,502 (84,107)		10,293,503 (171,351)	2,468,534 (182,279)	19,594,066 (910,430)
正味財産合計	5,961,532	870,497	0	6,832,029	1	10,293,502	0	10,293,503	2,468,534	19,594,066
負債及び正味財産合計	7,419,635	962,194	0	8,381,829	87,245	10,377,609	0	10,464,854	3,198,200	22,044,883

# 正味財産増減計算書

自平成27年4月1日  
至平成28年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,478,000	3,327,000	151,000
賛助会員受取会費	5,240,000	5,930,000	-690,000
事業収益			
防犯優良マンション事業収益	569,160	982,540	-413,380
風俗環境浄化受託事業収益	2,617,571	3,120,708	-503,137
認証シール事業収益	6,425,000	6,305,000	120,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,120,000	3,120,000	0
少年補導員受託収益	4,494,000	4,436,000	58,000
受取寄付金			
受取寄付金	3,600,000	3,600,000	0
雑収入			
受取利息	3,338	3,769	-431
有価証券利息	8,400	0	8,400
雑収入	249,792	186,000	63,792
経常収益計	29,805,261	31,011,017	-1,205,756
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	12,935,360	12,844,580	90,780
退職給付費用	545,000	545,040	-40
福利厚生費	2,126,769	2,139,678	-12,909
旅費交通費	293,510	528,760	-235,250
通信運搬費	686,169	721,748	-35,579
減価償却費	424,428	139,068	285,360
消耗品費	43,253	421,901	-378,648
印刷製本費	1,535,435	1,494,935	40,500
光熱水料費	1,032,495	1,090,210	-57,715
賃借料	692,617	751,716	-59,099
保険料	971,896	964,620	7,276
諸謝金	50,000	46,648	3,352
租税公課	938,400	631,700	306,700
支払負担金	277,578	1,021,400	-743,822
少年補導員活動費	1,333,000	1,466,300	-133,300
支払寄付金	10,000	10,000	0
普及宣伝費	2,226,990	3,288,377	-1,061,387
調査研究費	0	3,466	-3,466
車両運搬費	63,101	41,467	21,634
雑費	5,204	11,650	-6,446
事業費計	26,191,205	28,163,264	-1,972,059

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
管理費									
	給料手当	1,067,000			1,099,300				-32,300
	退職給付費用	55,000			54,960				40
	福利厚生費	169,300			180,000				-10,700
	会議費	578,897			510,546				68,351
	旅費交通費	164,950			93,200				71,750
	通信運搬費	152,719			142,610				10,109
	減価償却費	10,998			12,482				-1,484
	消耗品費	325,012			4,295				320,717
	印刷製本費	60,513			86,500				-25,987
	光熱水料費	85,000			87,000				-2,000
	賃借料	59,000			65,600				-6,600
	諸謝金	108,540			103,397				5,143
	租税公課	163,400			112,700				50,700
	負担金	797,122			45,300				751,822
	雑費	266,189			86,721				179,468
	管理費計	4,063,640			2,684,611				1,379,029
	経常費用計	30,254,845			30,847,875				-593,030
	当期経常増減額	-449,584			163,142				-612,726
2	経常外増減の部								
(1)	経常外収益								
	経常外収益計	0			0				0
(2)	経常外費用								
	経常外費用計	0			0				0
	当期一般正味財産増減額	-449,584			163,142				-612,726
	一般正味財産期首残高	20,043,650			19,880,508				163,142
	一般正味財産期末残高	19,594,066			20,043,650				-449,584
II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0			0				0
	指定財産期首残高	0			0				0
	指定正味財産期末残高	0			0				0
III	正味財産期末残高	19,594,066			20,043,650				-449,584

# 正味財産増減計算書内訳表

自平成27年4月1日  
至平成28年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費										
正会員受取会費	478,000			478,000				0	3,000,000	3,478,000
賛助会員受取会費	4,740,000	500,000		5,240,000				0		5,240,000
事業収益										
防犯優良マンション事業収益	569,160			569,160				0		569,160
風俗環境浄化受託事業収益				0	2,617,571			2,617,571		2,617,571
認証シール事業収益				0		6,425,000		6,425,000		6,425,000
受取補助金等										
受取地方公共団体補助金	2,600,000	520,000		3,120,000				0		3,120,000
少年補導員受託収益		4,494,000		4,494,000				0		4,494,000
受取寄付金										
受取寄付金	2,500,000	500,000		3,000,000				0	600,000	3,600,000
雑収入										
受取利息				0				0	3,338	3,338
有価証券利息	8,400			8,400				0		8,400
雑収入	249,792			249,792				0		249,792
経常収益計	11,145,352	6,014,000	0	17,159,352	2,617,571	6,425,000	0	9,042,571	3,603,338	29,805,261
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	6,248,600	1,850,000		8,098,600	1,600,000	3,236,760		4,836,760		12,935,360
退職給付費用	200,000	86,000		286,000	20,000	239,000		259,000		545,000
福利厚生費	721,383	349,757		1,071,140	225,600	830,029		1,055,629		2,126,769
旅費交通費	9,000	31,200		40,200	253,310			253,310		293,510
通信運搬費	273,332	164,114		437,446	88,431	160,292		248,723		686,169
減価償却費	253,794	131,801		385,595	21,928	16,905		38,833		424,428
消耗品費	18,954	7,914		26,868	6,750	9,635		16,385		43,253
印刷製本費	1,110,671	424,764		1,535,435				0		1,535,435
光熱水料	365,495	239,000		604,495	85,000	343,000		428,000		1,032,495
賃借料	352,212	161,400		513,612	97,005	82,000		179,005		692,617
保険料		971,896		971,896				0		971,896
諸謝金	50,000			50,000				0		50,000
租税公課	255,700	226,900		482,600	120,900	334,900		455,800		938,400
支払負担金	0	0		0	56,610	220,968		277,578		277,578
少年補導員活動費		1,333,000		1,333,000				0		1,333,000
支払寄付金	10,000			10,000				0		10,000
普及宣伝費	1,966,125	260,865		2,226,990				0		2,226,990
調査研究費	0			0				0		0
車両運搬費				0	63,101			63,101		63,101
雑費	3,584	0		3,584	864	756		1,620		5,204
事業費計	11,838,850	6,238,611	0	18,077,461	2,639,499	5,474,245	0	8,113,744		26,191,205
管理費										
給料手当									1,067,000	1,067,000
退職給付費用									55,000	55,000
福利厚生費									169,300	169,300
会議交通費									578,897	578,897
旅費交通費									164,950	164,950
通信運搬費									152,719	152,719
減価償却費									10,998	10,998
消耗品費									325,012	325,012
印刷製本費									60,513	60,513
光熱水料									85,000	85,000
賃借料									59,000	59,000
諸謝金									108,540	108,540
租税公課									163,400	163,400
支払負担金									797,122	797,122
雑管理費									266,189	266,189
管理費計									4,063,640	4,063,640
経常費用計	11,838,850	6,238,611		18,077,461	2,639,499	5,474,245		8,113,744	4,063,640	30,254,845
当期経常増減額	-693,498	-224,611		-918,109	-21,928	950,755		928,827	-460,302	-449,584
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計				0				0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計				0				0		0
他会計振替額	3,439,704	92,810		3,532,514	0	-3,950,755		-3,950,755	418,241	0
当期一般正味財産増減額	2,746,206	-131,801		2,614,405	-21,928	-3,000,000		-3,021,928	-42,061	-449,584
一般正味財産期首残高	3,215,326	1,002,298		4,217,624	21,929	13,293,502		13,315,431	2,510,595	20,043,650
一般正味財産期末残高	5,961,532	870,497		6,832,029	1	10,293,502		10,293,503	2,468,534	19,594,066
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額				0				0		0
指定正味財産期首残高				0				0		0
指定正味財産期末残高	0			0				0		0
III 正味財産期末残高	5,961,532	870,497		6,832,029	1	10,293,502		10,293,503	2,468,534	19,594,066

# 財産目録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場 所 ・ 数 量	使 用 目 的 等	当 年 度
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
手 持 現 金	手 元 保 管	運 転 資 金 と し て	50,000
普 通 預 金	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	1,945,869
	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	993,000
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	552,628
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	504,847
	兵庫県警察信用組合本店	運 転 資 金 と し て	1,943,930
	みずほ銀行神戸支店	運 転 資 金 と し て	11,525,151
現金預金合計			17,515,425
(2) 未 収 金	環 境 受 託 収 入 3 月 分		165,423
流動資産合計			17,680,848
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当金預金	三井住友銀行神戸公務部		910,430
特定資産合計			910,430
(2) その他の固定資産			
什 器 備 品	パ ソ コ ン 4 台	各 事 業 に 使 用	4
	シ ュ レ ッ ダ ー 1 台	各 事 業 に 使 用	1
	まもりちゃん着ぐるみ1体	公 益 目 的 事 業	453,600
投資有価証券	第 398 回 大 阪 府 公 募 公 債 (10 年)	公 益 目 的 事 業	3,000,000
その他の固定資産計			3,453,605
固定資産合計			4,364,035
資 産 合 計			22,044,883
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
預 り 金		マ ン シ ョ ン 申 請 料 ・ 社 会 保 険 料 ・ 所 得 税	1,540,387
流動負債合計			1,540,387
2 固 定 負 債			
退職給付引当金			910,430
固定負債合計			910,430
負 債 合 計			2,450,817
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			0
2 一 般 正 味 財 産			19,594,066
(うち特定資産への充当額)			(910,430)
正 味 財 産 合 計			19,594,066
負債及び正味財産合計			22,044,883

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の保有区分は満期保有目的であり、「総平均法による原価法」によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定率法による。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給与引当金

平成24年11月に中小企業退職金共済に加入し、当年度分掛金は各事業会計から、過去勤務分掛金は引当金資産を取り崩し支出している。

#### (4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

### 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	1,323,056	174	412,800	910,430

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	910,430	0	174	910,430

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	722,545	722,541	4
シュレッダー	199,500	199,499	1
着ぐるみ	756,000	302,400	453,600
計	1,678,045	1,224,440	453,605

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
兵庫県補助金	兵庫県	0	3,120,000	3,120,000	0

## 付属明細書

### 1 特定資産の明細

区 分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産	退職給付引当資産	1,323,056	174	412,800	910,430

### 2 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,323,056	174	412,800	0	910,430

目的使用とは、中小企業退職金共済の過去勤務分掛金である。